

平成11年度事業実施報告

(1) 支部総会

平成11年4月27日(火) 愛知厚生年金会館
参加者352名 (委任状321名を含む)

(2) 評議員会

第1回 平成11年 4月27日(火) 愛知厚生年金会館 参加者23名
第2回 平成11年12月 8日(火) 中電若竹クラブ
第3回 平成12年 5月 9日(火) (平成12年度支部総会開催日)

(3) 幹事会

第1回 平成11年 4月 5日(月) 中電若竹クラブ 参加者11名
第2回 平成11年 6月15日(火) 中電若竹クラブ 参加者 5名
第3回 平成11年 9月17日(金) 中電若竹クラブ 参加者 7名
第4回 平成11年12月 1日(水) 中電若竹クラブ 参加者 7名
第5回 平成12年 1月19日(水) ニッセイテムズクラブ 参加者 7名

(4) 支部大会(電気関係学会東海支部連合大会として) 共催1回

期 日:平成11年9月5日(日)、6日(月)
会 場:中部大学

情報処理学会東海支部からの役員

委員長 内川 嘉樹(名大)
委 員 龍岡 亮二(中部大) 富樫 敦(静岡大)
河合 敦夫(三重大) 陳 慰(名工大)
幹 事 浅井 清(NTTデータ) 外山 勝彦(名大)
梅崎 太造(中部大) 山田 健史(中電)
事務局 橋爪 朝子(情報処理・事務局)

シンポジウムのテーマと座長(情報処理学会関係分)

- ・21世紀へ向けた医療・福祉・健康に関する技術
座長 梅崎 太造 氏(中部大)
- ・自然言語処理における最近の話題
座長 椎野 努 氏(三重大)

一般講演 30部門798件(昨年度は27部門 741件)

大会参加登録者総数

講演者 798 特別講演者 1 シンポジウム講演者 39
座長(一般)106 座長(シンポジウム)7 一般参加者 121
合計 1,072名

幹事会

第1回 平成11年4月7日(水) 中部科学技術センター 第1会議室
議題:第1回実行委員会と合同開催・今後の予定打ち合わせ
第2回 平成11年7月6日(火) 中部科学技術センター 第1会議室
議題:大会プログラム編成
第3回 平成11年9月6日(月) 中部大学 共通教育校舎1号館2階 大会本部
議題:運営上の反省、来年度の申し送り事項

実行委員会

第1回 平成11年4月 7日(水) 中部科学技術センター 第1会議室
第2回 平成11年7月15日(木) 中部科学技術センター 第1会議室

第3回 平成12年1月31日(月) ルブラ王山 奨励賞表彰式・懇親会

大会の特記事項及び主な反省事項

奨励賞・B賞の実施：選考数 39名(申請者数 479名)

内、情報処理学会3名選考

(昨年度は選考数38名、申請者数 423名、情報処理学会1名選考)

情報処理学会東海支部奨励賞受賞者(受賞者の所属は発表当時のもの)

村瀬茂樹 君(三重大学)

河合 励 君(名古屋大学)

武市雅俊 君(三重大学)

次年度以降の予定

平成12年度

会場校：静岡大学

期 日：平成12年9月16日(土)、17日(日)

主担当学会：電子情報通信学会東海支部

平成13年度(案)

会場校：豊橋技術科学大学

期 日：未定

主担当学会：電気学会東海支部

(5) 講演会 主催7回

平成11年

4月27日(火) 水野 忠則 氏(静岡大学)

「インターネット、モバイルコンピューティング、そして次は」

於：愛知厚生年金会館 百合の間 参加者30名

コメント：コンピュータ利用形態の推移を、インターネット・モバイルコンピューティングへと体型付けた紹介と、次世代へのキーワード及び静岡大学での実用例を交えながらの、非常に興味深い講演であった。

6月26日(土) 伊藤 暢浩 氏(名古屋工業大学)

「エージェントモデルとその応用」

於：名古屋工業大学 電気情報工学科3棟会議室 参加者34名

コメント：半分以上の参加者が若手の研究者や学生で、公演後の質疑と討論も活発的に行われた。良い講演会であった。

12月 1日(水) 杉尾 俊之 氏(沖電気工業(株))

「機械翻訳と文章内容抽出処理」 参加者33名

於：三重大学工学部情報工学棟1階多目的会議室

コメント：実際の商用システムを作成している立場と、研究面での立場の両面から話が聴けた。現状の機械翻訳の精度は、確かに不十分であるが、それを運用面からカバーする差分翻訳技術や研究面での用例主導翻訳などの話がおもしろかった。

平成12年

1月20日(木) 富井 規雄 氏((財)鉄道総合技術研究所)

「鉄道とコンピューターその過去、現在、未来」 参加者24名

於：名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

3階ベンチャーホール

コメント：ダイヤ作成、運転整理など鉄道輸送計画・管理における情報処理技術の応用に関して、その歴史的経緯、現状、今後の見通し・課題について解説していただいた。

2月23日(水) 原田 道明 氏(三菱電機)
森 俊治 氏(三菱電機)
「最新IT技術の評価とシステム構築の実際」 参加者50名
於:CTI(株) 日本生命笹島ビル 7F 7-1会議室
コメント:最新のIT技術を説明すると共に、実際に企業で適用された事例等が紹介され、より理解が深まる講演であった。

3月7日(火) 斎藤 隆 氏(NTTデータ)
「広告を評価実現する画期的マーケティング・システム-食MAP-」 参加者40名
於:(株)NTTデータ東海支社2階研修室
コメント:今回の食MAP講演は、一般のマーケティングにも云える顧客をいろいろな角度から観察する必要性を具体的に示す、良い例だと思います。サービスや製品提供者側観点からは見えな(気づかない)顧客ニーズを把握できる内容でしたので、とても魅力的な講演でした。

3月7日(火) 川崎 和男 氏(名古屋市立大学)
「インフォメーション・テクノロジーと新しい人間工学的デザイン」 参加者30名
於:中部大学技術・文化専門学校 名古屋校舎
コメント:名古屋の方が場所の関係で良いだろうということで、鶴舞校舎にしましたが、かえって人が来ない状態になりました。私どもが声をかけた人は誰一人参加しませんでした。ただ、講演内容は非常にすばらしいものでした。

(6) 講習会 2回(主催1回、後援1回)

(主催)「情報処理と健康福祉」

日時:平成12年3月16日(木) 10:00~17:10

会場:(株)NTTデータ東海支社 2階研修室 参加者47名

(後援、電子情報通信学会東海支部)「ITSとその関連技術」

日時:平成12年2月21日(月)、22日(火) 9:00~16:30

会場:KKR名古屋三の丸

(7) 研究会 8回(共催2回、協賛6回)

平成11年

6月25日(金) 「ロボットは、ワールドカップの夢を見るか？」

於:名古屋市科学館 参加者250名

(協賛、中京大学)

7月7日(水) 「日英、英日辞書・機械翻訳の実用化と言語理論」

於:名古屋市工業研究所 参加者47名

(共催、名古屋市工業研究所)

8月26日(木) 「西暦2000年問題と危機管理計画」

於:名古屋市工業研究所 参加者130名

(協賛、名古屋市工業研究所)

10月20日(水) 女性セミナー「女性のための電気教室」

於:産業技術記念館 参加者51名

(協賛、電気学会東海支部)

11月17日(水) 「先端技術フォーラム'99名古屋」

～18日(木) 於：名古屋市工業研究所 参加者296名
(協賛、名古屋市工業研究所)

12月 6日(水) 「コンピュータ西暦2000年問題の法的課題と最終対策」
於：名古屋市工業研究所 参加者120名
(協賛、名古屋市工業研究所)

平成12年

2月15日(火) 「ソフトウェアプロセス評価改善セミナー」
於：名古屋市工業研究所 参加者210名
(協賛、名古屋市工業研究所)

3月27日(火) 「マルチメディア講演と見学会」
於：豊橋技術科学大学
(共催、マルチメディア研究会)

(8) 学生論文奨励賞

選定委員会 4月21日(金)

表彰式 5月 9日(火)

会場：愛知厚生年金会館

受賞者： 生田 大介君(名城大学)
武内 裕美君(名古屋工業大学)
王 新君(静岡大学)
金指 文明君(静岡大学)
小尻 智子君(名古屋大学)
小川 泰弘君(名古屋大学)
南端 邦彦君(静岡大学)
高橋 圭子君(静岡大学)

以上